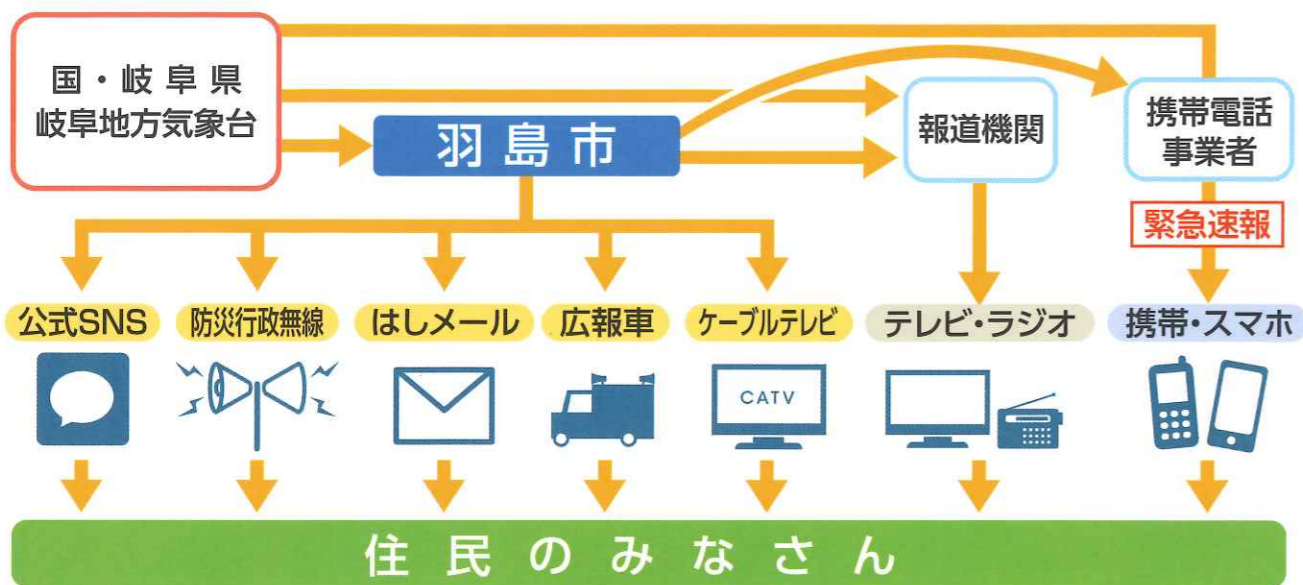


気象情報・避難情報の伝わり方

気象情報・河川水位情報

情報の伝達経路

情報伝達 **プッシュ型** (情報が自動的に配信される)



情報取得 **プル型** (必要な情報を引き出す)



気象情報など

気象警報・注意報・洪水予報・台風情報等がインターネットでどなたでもご覧になれます。

■ 気象庁ホームページ
<https://www.jma.go.jp>



■ 岐阜県総合防災ポータル
<https://gifu-bousai.my.salesforce-sites.com>



■ 羽島市情報メール「はしメール」

羽島市に発表される気象情報、避難情報、行政情報などをお手持ちの携帯電話やパソコンにメール配信するサービスを行っています。

登録方法

右のQRコードを携帯電話のバーコードリーダーなどで読み取り、表示されたURLにアクセスして登録手続きを行ってください。*QRコードを読み取れない場合は、下のアドレスに直接空メールを送信して、手続きを行ってください。登録用アドレス:t-hashima@sg-p.jp



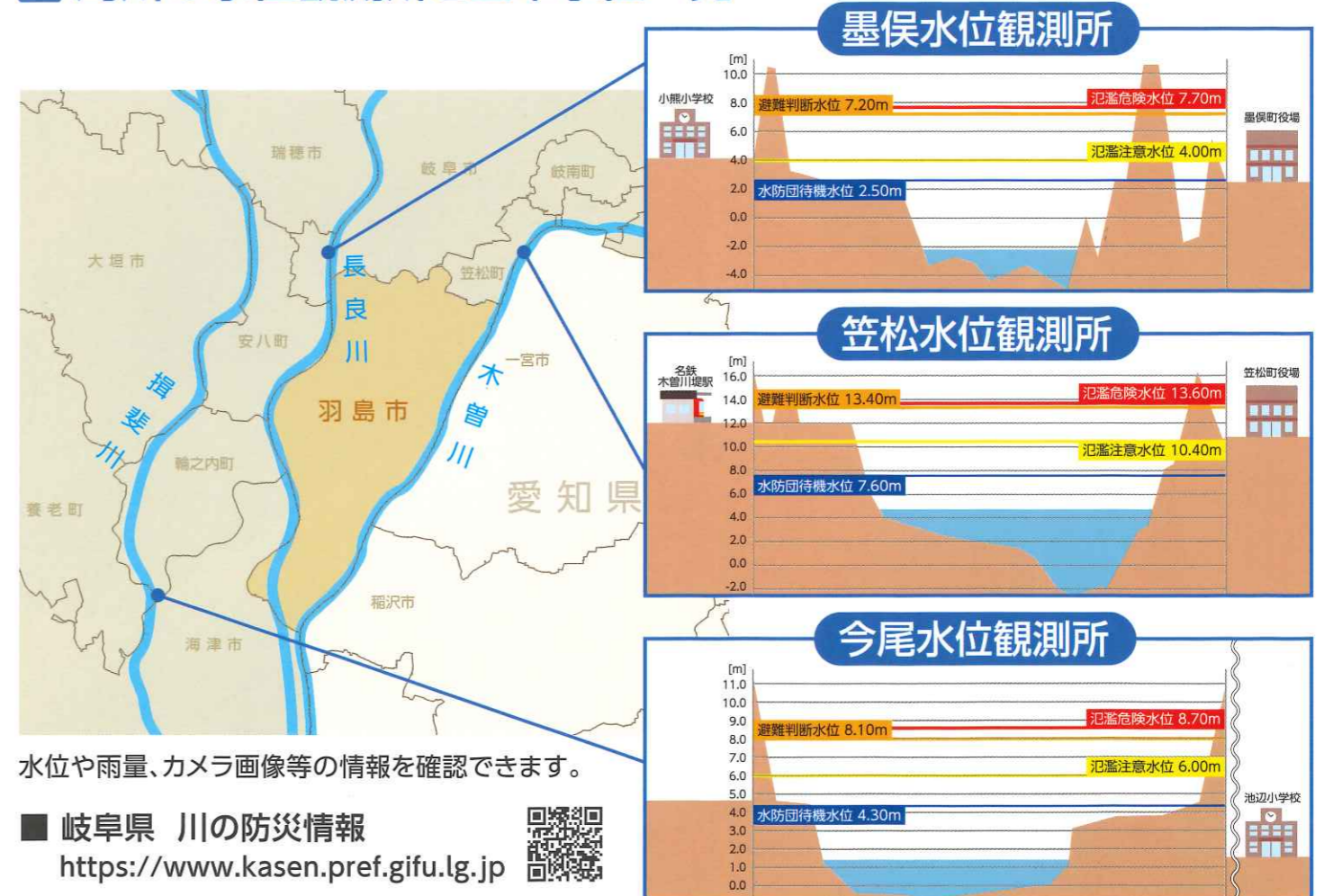
豪雨や強風等により防災行政無線の放送内容が聞き取れなかったときは電話でも確認できます。

フリーダイヤル(通話料無料) 0800-200-8404

大雨の場合に気象庁が発表する気象情報

大雨	注意報	大雨により災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	特別警報	大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する予報
洪水	注意報	洪水により災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
記録的短時間大雨情報		大雨警報が発表されている時に、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

河川の水位観測所と基準水位一覧



水位や雨量、カメラ画像等の情報を確認できます。

■ 岐阜県 川の防災情報
<https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp>



■ 国土交通省 川の防災情報
<https://www.river.go.jp>



要配慮者利用施設の一覧は、市HP「市地域防災計画」の「4 参考資料」より確認できます。
<https://www.city.hashima.lg.jp/2471.html>



避難に関する情報

避難行動の確認

警戒レベルととるべき避難行動

	警戒レベル	とるべき避難行動	避難情報等
市が発令	警戒レベル5	命の危険、直ちに安全確保!	緊急安全確保 (必ず発令される情報ではない)
	警戒レベル4までに必ず避難		
	警戒レベル4	全員避難	避難指示
気象庁が発表	警戒レベル3	高齢者、障がい者等とその支援者は避難、その他の住民は避難の準備	高齢者等避難
	警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認	洪水注意報 大雨注意報等
	警戒レベル1	最新の防災気象情報等に注意するなど、災害への心構えを高める	早期注意情報

避難情報ととるべき避難行動

発令区分	状況	避難行動
緊急安全確保	人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況又は人的被害の発生した状況	●既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。
避難指示	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	●速やかに避難先へ避難しましょう。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
高齢者等避難	人的被害の発生する可能性が高まった状況	●避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難先へ避難しましょう。 ●その他の人は、避難の準備を整えましょう。

Evacuation Information (Revised)



Scan to get this information in your own language.

English	简体中文	繁體中文	한국어	Español
Português	Tiếng Việt	ភាសាខ្មែរ	ภาษาไทย	မြန်မာစာ
Tagalog	Bahasa Indonesia	नेपाली भाषा	Монгол хэл	QR Translator



洪水からの避難行動

木曾川・長良川については、市内のほぼ全域が浸水想定区域に指定されています。浸水した状況での避難は大変危険です。浸水の状況、自宅の位置、家の構造によって適切な避難行動をとりましょう。

- 広域避難** 日頃より市外の親戚、知人宅や勤め先等の各自の安全な避難先を確保しましょう。
- 早めの避難!** 浸水が始まる前に避難しましょう。
- 浸水中の避難** 浸水してからの避難は大変危険です。
- 在宅避難** 浸水の状況によっては自宅での避難も考えましょう。1週間程度の浸水に備え、水や食料を備蓄しましょう。

●避難行動の例

浸水の深さ	1階建て	2階建て	3階建て
0.5m未満	在宅避難も可*	在宅避難も可*	在宅避難も可*
0.5m~3m未満	指定緊急避難場所等に避難	2階へ避難も可*	2階へ避難も可*
3m~5m未満	指定緊急避難場所等に避難	指定緊急避難場所等に避難	3階へ避難も可*
5m以上	指定緊急避難場所等に避難	指定緊急避難場所等に避難	指定緊急避難場所等に避難

*家の周りの浸水の深さと建物の高さで避難方法が異なります。「在宅避難や2階、3階へ避難も可」の場合も必要に応じて、想定される浸水の深さ以上にある「学校の教室等の指定緊急避難場所、親戚・友人宅や近隣の安全な場所に避難」してください。

洪水ハザードマップにおいて の範囲内にある建物は、洪水発生時に氾濫流や河岸侵食による倒壊のおそれがありますので、より「早期の立退き避難」に備える必要があります。

あなたの避難行動

A.お住まいの地域の浸水想定は?

0.5m未満(床下浸水)

0.5m~3m未満(1階浸水)

3m~5m以上(2階浸水)

5m~10m以上(3階浸水)

B.避難場所は?

C.避難場所まで片道何分(通常時)?

歩 徒歩なら ___分 / 車 車なら ___分

D.避難場所まで片道何分(豪雨時)?

歩 徒歩なら ___分 / 車 車使用不可

E.避難を決定してから家を出るまでに何分? ___分

F.要支援者を支援するのに何分? ___分

G.避難を決定してから安全な場所まで何分?

歩 徒歩なら ___分 (C+E+F)

車 車なら ___分 (C+E+F)

豪雨時なら ___分 (D+E+F)

災害に備えて

非常持出品をチェックしましょう!

避難する際に携帯すべきもの

非常持出品の事前準備

避難に必要な物を準備し、チェックリストで確認をしておくことが重要です。特に、常用薬などなくてはならないものは、十分注意する必要があります。

被害を抑えるための自衛策

家のまわりを点検・整備

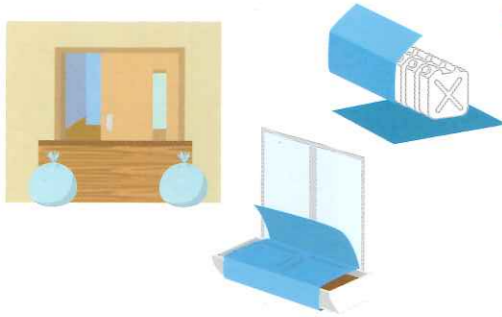
梅雨や台風期の前には、家の周りの排水溝が詰まっていないかの確認や、風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。



家庭でできる簡易水防

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。

- 大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となる場所に並べる。
- プランターをつなげて水の侵入口となる場所に並べる。
- 長めの板と土のうで臨時的止水板を作る。



地域での助け合い活動

2人以上での避難や隣近所への呼びかけ

避難するときは、2人以上で行動しましょう。避難時において隣近所に声をかけ合い、避難しましょう。

特に防災上の配慮を要する人の避難支援

ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等、防災上の配慮を要する人へは、早めの避難を促すことが必要です。



避難の心得

正確な情報収集と早めの避難

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をしましょう。

動きやすい服装と集団での避難

動きやすい服装での避難や、家族や隣近所等とともに避難しましょう。

安全な避難経路の確認

避難場所までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

浸水が生じている場合や避難が遅れた場合

氾濫水の流れが緩やかであっても、0.5m以上の水深があると大人でも歩行が困難となることから、浸水が始まった後に移動することは大変危険です。避難が遅れ、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所への移動など状況に応じた避難をしましょう。

車での避難の危険性

車での避難中に命を落とす例が多数発生しており、浸水しているアンダーパスで動けなくなったり、川沿いの道路で川に転落したり、渋滞が発生し円滑に避難できなくなる事があります。



非常持出品を準備しておきましょう



避難所の備蓄品には限りがありますので、各自で十分な準備をすると安心です。非常持出袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。

- あまり重いと避難行動に支障があるので、重すぎる場合は減らしましょう。
- 水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。
- 各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

非常持出品 (例)

● 通信・連絡機器

- 携帯電話 充電器(発電ができるもの)

● 非常食品

- 飲料水(1人1日3ℓ) チョコ・氷砂糖・あめ
- アルファ米 缶詰・レトルト食品
- インスタント食品
- ミルク・ほ乳びん・離乳食[乳児用]
- バランス栄養食・機能性食品
※ビタミン、ミネラルなどの栄養が強化された食品

● いのちを守るもの

- ヘルメット・防災ずきん 軍手 タオル
- 懐中電灯・予備電池 ホイッスル
- 小型ナイフ

● 感染対策

- マスク 体温計
- 石けん・洗剤 消毒用アルコール

● 生活用品

- 携帯ラジオ 新聞紙
- マッチ・ライター 生理用品
- ろうそく(ツナ缶) 紙オムツ
- 雨具 救急箱
- 高密度のポリ袋 折りたたみポリタンク
- レジャーシート ロープ
- 筆記用具(油性ペン) 下着・衣類
- ウェットティッシュ 寝袋・毛布
- 使い捨てカイロ 洗面用具
- 携帯・簡易トイレ

● 貴重品

- 現金(小銭含む) 通帳・印鑑
- 保険証・免許証(コピー)
- 旅券・証書等 クレジットカード類

● その他

- お薬手帳 常備薬

大雨や台風の接近により自宅から避難する時、持って行くべき物を確認しましょう。

避難所は身の安全を確保する場所です。避難に必要な物は自分で持ち込みましょう。

台風などによる半日~1日程度の避難の場合

■ 食べ物は必ず持っていきましょう!

- 避難が必要な期間に自分が食べるだけの食料(おにぎり・弁当・パン・インスタント食品・缶詰・お菓子など)は、自分で持っていきましょう。
- 台風が近づく前に食料を買っておきましょう。
- 水分は多めに用意しておきましょう。

■ その他必要な物も確認しましょう!

- 食料の他、自分に必要な物(寝袋、アイマスク・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・モバイルバッテリーなど)も持っていきましょう。
- 避難所での宿泊も考えて、睡眠を快適にするグッズの準備も検討しましょう。
- 持病をお持ちの方は、お薬を忘れずに!